

わたしの蔵出し日記

市民リポーターが半田市の魅力を紹介

2022年度市民リポーター

いしかわ ゆうこ
石川 結子さん

半田市在住歴：約6年

家族：花農家の夫と娘2人(5歳と1歳)

いまやりたいこと：一人旅



第5回

『人生変えた!』妊婦に寄り添う助産院



「かとう助産院」(半田市向山町1)は、市内で唯一、出産ができる助産所です。二人目をここで産ませてもらった私は、現在お腹にいる第三子もこちらで取り上げてもらう予定。今回は、そんな「リピートしたくなる助産院」の紹介です。

2020年秋、私は代表の加藤朋子(56)さんら4人の助産師さんと家族に囲まれ、次女を出産しました。陣痛逃しのための足湯など手厚い介助も奏功し、入院から2時間半のスピード安産でした。でも、そうした体験も去ることながら、最も感動したのは入院中の徹底したサポート。特に、後の「おっぱいトラブル」につながる授乳法については、深夜早朝にかかわらず加藤さんが昼の個室に様子を見に来てくれて、根気強く指導してくれたのです。

その結果、なんと穏やかな産後を過ごせたことか。長女の時に経験したトラブル——誤った授乳法で乳腺が詰まり胸がガチガチに固まったり、激痛を伴う白斑が乳首にできたり——も覚悟していましたが、それも無用の心配でした。乳児期の次女は良く飲み良く寝る、本当に手がかからない赤ちゃんとなったのです(今はミニ怪獣と化していますが…)。

他にも、妊娠中からいただいたたくさんのアドバイスも、その後のスムーズな育児につながっています。「加藤さんがいたから三人目も欲しいと思えた」と言っても過言ではないかも。人生まで変えてしまう助産院、これからも地域にあり続けてほしいです。



▲助産師の加藤朋子さん



早期に転院「セミオープンシステム」も

かとう助産院では、半田市立半田病院などで出産後、早期に助産院に転院する「セミオープンシステム」も設けています。病院で産みたいけれど、育児のスタートは助産院のケアを受けたいと思っている人におすすめです。

みなさんの声 を聞かせてください アンケート

Q1 今号でよかった内容や写真があれば教えてください。

Q2 今号を読んだことがきっかけで行動したこと、または、したいことはありましたか。

Q3 市報で取り上げてほしい内容や企画、広報に関するご意見・ご感想などありましたらお聞かせください。

回答方法

下記 QR コードから回答もしくは、住所、氏名、年齢、アンケートを書いて、はがきまたは E メールでご送付ください。

あて先

〒475-8666

東洋町2-1

企画課

Eメール

kouhou@city.handa.lg.jp



暑い日が続きます。皆さん体調を崩したり、熱中症にならないよう気を付けてお過ごしください。

(倉野)

最近、いろんな人から「いつも編集後記読んでるよ」「や、編集後記楽しみにしてるよ」というありがたい言葉をいただきます。とても嬉しい反面、若干のプレッシャーを感じていますが、プレッシャーを力に変える広報担当倉野は、これからも皆さんに楽しんでもらえる編集後記を書いてまいります!

編集後記

例年より早い梅雨明けで、いよいよ本格的なサマーの到来です。夏は色んなイベントが盛りだくさんでドキドキワクワク、開放的な気分になっちゃいますね!僕の場合、お財布まで開放的になっ